

運転復帰に向けた機会の提供や、関係団体の連携などをサポート

Hondaでは「より多くの人にクルマを操る楽しみを提供したい」「交通社会に参加するすべての人の安全を守りたい」という想いのもと、運転復帰を望むお身体の不自由な方々への訓練の機会や場を提供すると共に、病院や教習所などで運転能力の確認をする方にそのノウハウの提供や地域連携を実現するための環境整備のサポートをしています。



運転補助装置が取り付けられた車両で、自操安全運転プログラムを体験



各地域の自動車教習所と作業療法士との連携を支援

Hondaは運転復帰を望む方の自動車運転能力評価の手法として、シミュレーターや実車での訓練などを行う「自操安全運転プログラム^{*1}」を提供しています。また、各地域で安心して評価が受けられる環境の確立と充実を図るため、交通行政や指定自動車教習所協会、作業療法士会の相互理解と連携を支援。一昨年の沖縄県、昨年の熊本県、鹿児島県に続き、今年には広島県で指定自動車学校協会と作業療法士会が合同講習会を行いました。合同講習会では、Hondaの交通教育センターのインストラクターが講師となり、参加した教習指導員と作業療法士にそのノウハウを伝えました。作業療法士は患者役となって、運転補助装置が取り付けられた車両を運転し、プログ



合同講習会では教習指導員と作業療法士が情報や意見を交換

ラムを体験。さらにグループに分かれ、病院施設での運転復帰に向けた評価・訓練の実態や、自動車教習所の受け入れ体制などについて情報や意見を交換するなど、双方が交流する場も設けられました。参加した作業療法士の方からは「運転復帰をめざす患者様を受け入れてくれる教習所があることがわかったので、これからは気軽に相談できるようになる」といった声が聞かれました。

送迎運転者への安全運転教育

HondaはNPO法人や福祉関連企業と連携し、「移送安全運転プログラム^{*2}」を活用して、福祉施設の送迎運転者に送迎対象者に配慮した運転操作を身につけてもらうための取り組みを進めています。さらに、各地域のNPO法人の指導者が送迎運転者に移送安全運転プログラムを適切に運用できるようにするためのマニュアルづくりも進めています。



移送安全運転プログラム

^{*1} 自操安全運転プログラム：高次脳機能障害を持ち、運転復帰を希望する方の能力評価の参考とするために、Hondaの交通教育センターで実施しているプログラム。実車運転時における現状の把握と、そこから見えた課題に対する訓練を行う。

^{*2} 移送安全運転プログラム：福祉施設の送迎運転者を対象に、Hondaの交通教育センターで実施しているプログラム。送迎中の事故を予防する運転アドバイスとともに、送迎対象者への配慮の大切さを理解してもらうための教育を行う。